

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月

事業所名:川崎市子ども発達・相談センター かもみーるかわさき

職員数:5名 回収数:5 回答率100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		限られたスペースを物理的に区切り、プログラムによって流動的に使い方を定めるなど工夫しています。	パーテーションを使って流動的に空間を区切ったり、利用人数が適正になるように調節したりして、限られたスペースを有効に使えるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	職員一同、助け合う気持ちで業務に取り組んでいます。	今後も適切に配置していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	イラストや文字を使ってわかりやすく示しています。	お子さんに合わせた構造化をその都度考えながら、本人が自分でわかって行動できるようにしていきます。視覚支援の意味を職員で理解し、使用できるように努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎日の掃除・消毒を実施しています。棚の上に物を置かない、使わない物はお子さんの目につかないようにしています。	刺激となる物を見えないようにする、視覚的支援は見やすくするなど、目的に合わせた環境調整を心がけています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	毎日の打ち合わせ、振り返りや日頃のコミュニケーションを大切にしています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		評価表の内容を職員同士で共有し、よりよい支援に繋がるようにしています。	ご意見に対しては真摯に受け止め、迅速に対応するように努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		保護者向け評価は契約終了時(おむね3か月)、事業所向けは年に1回実施しています。	年度末に結果を取りまとめ、法人のホームページを利用して情報公開をし、利用者にも周知していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		療育センターと併せて取り組んでいます。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		療育センターや事業所合同での内部研修を実施しています。	人材育成を目的とした研修の体系化を目指していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		専門相談(きつずサポート)からの情報を元に、見学クラス等で評価して作成しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		専門相談(きつずサポート)で適応行動評価を実施、必要に応じて心理評価も行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		発達支援と家族支援を軸に、地域連携コーディネーターと連携して地域支援も行っています。	今後も他部門の職員と連携してニーズに沿った支援が実施できるように努めています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		職員間でしっかり共有して取り組んでいます。	今後も丁寧に取り組んでいきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		担当職員が立案し、振り返りや打ち合わせで内容を検討し、共有しています。	打ち合わせの中で、個別のねらいを定め、それに合わせてプログラムを調整しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		一つ一つのプログラムのねらいをもって検討しています。	日々そのクラス、お子さんに対して適切なものを考えていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		自由遊び、集団活動、個別活動を組み合わせ、お子さんの課題に取り組んでいます。	日々の記録やねらいを振り返ってその時に最適な活動を検討し、実施出来るように努めています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎回必ず確認しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎回必ず行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		記録は必ずその日のうちに取りるとともに、振り返りも行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		最終日にモニタリングを支援のまとめとしてお渡ししています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		週に1回、児発管が会議に参画しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		行政の専門相談部門と連携しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		モニタリングを必要に応じて利用していただくようにお話しています。	保護者の意向に応じて取り組んでいきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		専門相談(きつずサポート)と情報を共有しています。意向があれば情報共有しています。	保護者の意向に応じて取り組んでいきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		療育センターが実施する療育講座に定期的に参加しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5	必要に応じて園訪問をしています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4	会合には直接参加はしていませんが、行政とのやり取りの中で情報共有はしています。	行政の子育て支援事業などとも連携が取れるように努めています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		療育中、その都度、お子さんの状況等を共有させていただいています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5		療育の中で、実践的にお子さんへの声掛けやかかわり方をお伝えしています。	保護者プログラムを立案中で、利用期間内で行えるように整えていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		契約時に行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		療育中、その都度、お子さんの状況等を共有させていただいています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	自主的な活動はありませんが、保護者同士のつながりも持てるように関わっています。	保護者プログラムの中で、保護者同士が分かち合ったり、つながりがもてたりするようにお手伝いさせていただく予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		すぐに対応できるように日頃から準備を整えています。	ご相談の内容によりですが、できるだけ迅速に対応させていただいています。すぐにお答えできない時は、一度お預かりしますができるだけ早くお答えできるように努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	その日のプログラムの概要、個別のねらいなどを毎回保護者にお配りしています。	今後はクラスの運営方法も変更し、保護者プログラムの中で情報を発信していけるように検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		情報管理の徹底、ダブルチェックを行い事故につながらない様にしています。	今後も一人ひとりが個人情報の重要性を意識して扱っていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		話しかけやすい雰囲気づくり、こちらから気軽に声をかけるなど心がけています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	事業所の性質上、行事の設定はありません。	現在の所、行事の予定はありません。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		療育センターのマニュアルに準じています。訓練や研修は定期的に行っています。	状況や必要に応じてマニュアルの内容を更新していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		職員間で訓練を実施しています。	今後も取り組んでいきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		保護者同伴なので、状況に応じて確認しています。	必要に応じて取り組んでいきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				・食べ物はありません。飲み物は持参していただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		事故・ヒヤリハットのファイルを作成し、共有しています。	今後も取り組んでいきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		療育センターと共同で取り組んでいます。	今後も取り組んでいきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	契約時に説明しています。今までに事例はありません。	必要に応じて取り組んでいきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。